

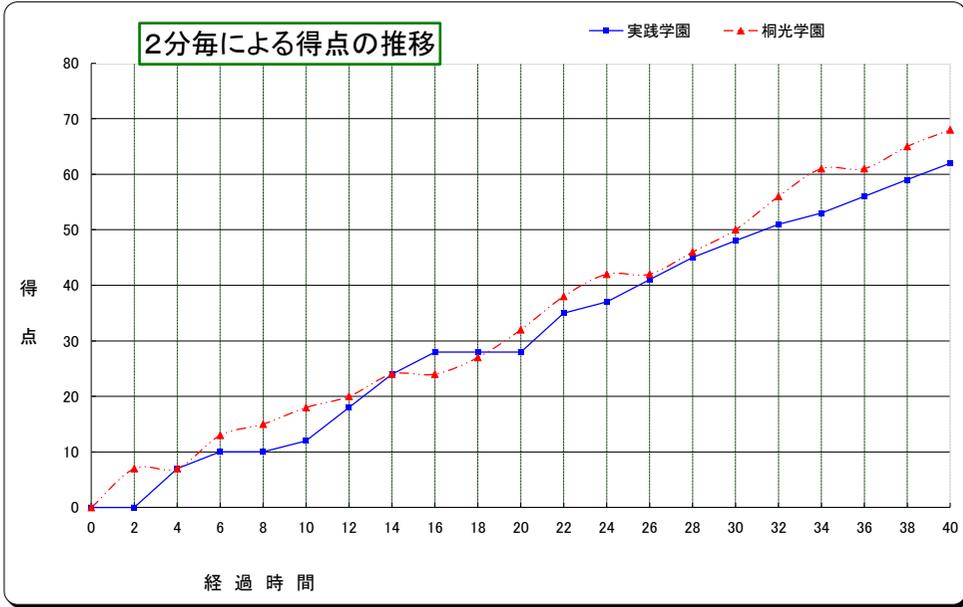
# 平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)  
深谷ビッグタートル  
Aブロック1回戦

チームA			チームB
<b>実践学園 (東京)</b>	62	{	<b>桐光学園 (神奈川)</b>
		12 1st 18 16 2nd 14 20 3rd 18 14 4th 18	
		}	68

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	門田 脩人	29	7	17	2	10	4	4	1	2	6	3	3	0	0
5	平澤 結	4	0	0	2	4	0	0	3	7	3	0	2	2	3
6	小松 伸吾	0													
7	多田竜之介	2	0	4	1	4	0	0	1	0	3	0	2	0	0
8	牧野 翔	4	0	2	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1
9	大村 源大	0													
10	深澤 英吾	10	2	4	2	9	0	0	3	1	4	2	4	0	1
11	町井 丈太	8	0	2	4	11	0	0	4	4	2	0	1	0	1
12	三浦 修平	0													
13	阿保 柊二	0													
14	横山 悠人	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	吉川耕之輔	0													
16	矢口 拓歩	0													
17	樋口 将馬	0													
18	小玉 大智	3	0	1	1	6	1	2	0	3	5	0	0	0	1
コーチ	高瀬 俊也									3	6				
		62	9	30	15	49	5	6	12	20	30	5	12	2	8
		確率	30.0%		30.6%		83.3%			計 50					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	田代 幹	7	0	6	3	9	1	4	1	2	3	1	2	0	0
5	新田 嵐	17	1	3	6	9	2	6	1	3	2	0	6	0	2
6	東山 勝彦	6	2	4	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7	植松 義也	10	0	2	5	8	0	0	0	3	5	1	1	2	0
8	三島 大河	3	1	3	0	1	0	0	1	1	5	0	1	0	3
9	前原 碧生	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
10	神崎 颯大	12	2	6	3	7	0	0	0	1	1	0	0	0	1
11	上田 徳貴	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0
12	長谷川 解	0													
13	小針 幸也	0													
14	堀口 大飛	0													
15	伊藤 航大	0													
16	コラン 優生	0													
17	宮本 一樹	8	0	1	4	9	0	0	1	4	12	0	1	2	1
18	小林 良	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
コーチ	高橋 正幸									2	5				2
		68	7	26	22	50	3	10	4	18	35	2	13	4	10
		確率	26.9%		44.0%		30.0%			計 53					



**戦評**

第1P両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。開始早々桐光は#5がドライブイン、3pと連続得点リズムにのる。対する実践も#6の1対1#4の3pで応戦し一歩も譲らない。桐光は#5のドライブや#10の3p#7の連続得点でリードを広げる。実践はガードをワングードにしリズムを変えようと試みるが流れは桐光が渡さず18-12桐光リードで第1P終了。

第2P桐光はスタートを全員変えて出場させる。実践は#4が連続3pで差を縮め#10、#11の活躍で逆転に成功する。桐光はオフェンスが噛み合わないなか#6が3pを沈め食らいつき一進一退の攻防が続く。実践は#5がリバウンドを頑張り得点すると桐光は#8が3pで追いつがる。28-27実践リードの残り2分、桐光がタイムアウトを取り#8の3p、#11のジャンプシュートで一気に逆転し32-28桐光リードで第2P終了

第3P桐光はスターティングメンバーに戻りスタート。#5の果敢なドライブインでスタートする。対する実践は#10が3pで応戦し早い展開となる。桐光#4は慌てず冷静なジャンプシュートをセレクトし確実に沈める。実践はショットイン2-2-1ゾープレスなど仕掛けるが桐光#5が冷静にボールを運び、かつ自ら仕掛けアシストで得点を重ねていく。5点差を縮めたい実践はハーフコートオフェンスをしかりと組んで行くがリングに嫌われ50-48桐光リードで第3P終了。

第4P出だし桐光#5、#17の連続得点で差を6点とする。実践は#4の3pで追いつがる。流れは桐光に。流れを変えたい実践はタイムアウトを取るが逆に桐光#10に連続3pを許してしまう。しかし実践も#4が3pを入れ替えし5点差とする。残り4分実践はディフェンスを頑張るが桐光にオフェンスリバウンドを奪われリズムに乗れない。残り1分オールコートマンツーマンプレスディフェンスを仕掛けるも桐光#5が落ち着いて運び追いつがる実践を68-62で下した。

記録者: 佐々木 信勝